

平成 29 年度 研究計画書

Research Plan FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 講師（兼任） 日本語日本文化教育センター 講師（専任）
氏名 Name	村田 真実
専門分野 Academic Field	方言学・社会言語学

平成 29 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2017 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	① 日本語教育における方言教育の位置づけ、および、聴解教材の開発 ② 四国東部方言の音声・音韻・アクセントについての調査 ③ 集団的知性及び意志決定ルールに基づく支援ツールの試験的運用				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words)					
① 2017 年 1 月にアンカラ大学にて「日本語教育における方言教育—方言を通して日本の多様性を知る—」という講演を行った。これを契機に、日本語教育における方言教育の位置づけについて検討したい。日本語学習者が方言教育に何を求めており、教師は何を教授すべきかを、理念と実態のズレから考察する。標準日本語の聴解教材を開発する予定であるが、そこに方言音声の聴解教材も含めようと考えている。 ② 徳島方言の連母音およびアクセント、香川方言の低接式アクセントについて調査を行う予定である。 ③ 基盤研究（B）「集団的知性における類推・分析能力を強化するプロジェクトマネジメント研究」（代表：桐山聡、鳥取大学）の分担者として、支援ツールの試験的運用を行う。また、補足するデータを集める。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	日本語学	言語学	教育工学	日本語教育	地域研究
キーワード Keywords*2	方言	アクセント	音声分析	フィールドワーク	データマイニング